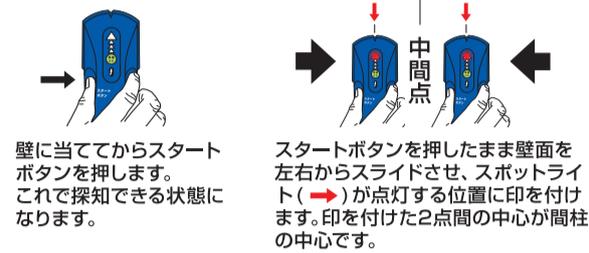


■各部の名称



■使用方法(概略)



注意

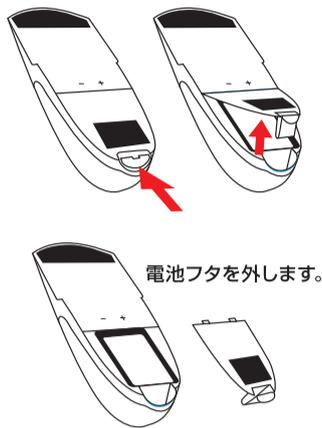
探知物検出深度には壁の厚み・壁密度・壁湿度の三つの主要素が関係してきます。次のような高密度、密度が一定でない材質、凹凸のある材質を通しての探知はできませんのでご注意ください。

- ・金属壁・コンクリート・ラス・セラミック床タイル・レンガ
- ・カーペット等の敷物・金属繊維を含む壁紙
- ・ペンキ塗りたてや壁紙貼りたてで壁が塗れている場合(乾くまで一週間以上かかる場合もあります)・・・など

また、偶然柱の真上からスライドさせると探知できません。

■電池交換

本体を裏返して電池フタのツメを押しながら上げます。

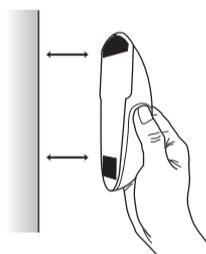


※プラスとマイナスを逆に入れると故障の原因になります。

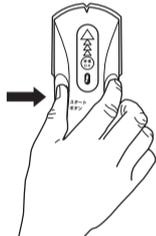
※付属の電池はモニター用です。電池寿命が短い場合があります。

■使用方法

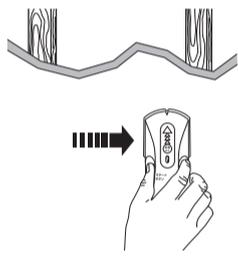
① 本体裏面を壁にピッタリと当てます。この時はスタートボタンは押しません。



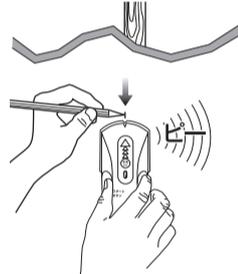
② 壁に当ててから左横にあるスタートボタンを押し、準備OKのランプが点灯すると探知可能です。そのまま壁から離さず右方向へスライドさせます。※壁に当てる力は均一に。



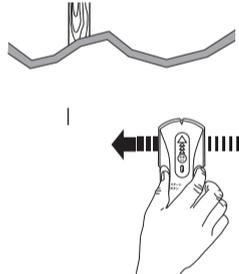
③ 壁の水平方向右側へゆっくりとスライドさせます。間柱等に近づくにつれ、赤いLEDランプが下から順に点灯します。



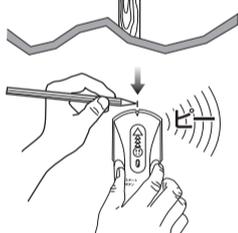
④ 一番上の大きな赤いLEDランプとスポットライト(→)が点灯し、「ピー」とブザー音が鳴ったところに鉛筆で薄く印を付けます。



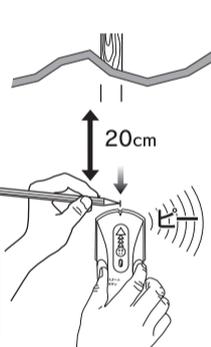
⑤ 今度は逆側から、②と同じように左方向へスライドさせます。



⑥ 逆方向から探知して、一番上の大きな赤いLEDランプとスポットライト(→)が点灯し、「ピー」とブザー音が鳴ったところに鉛筆で薄く印を付けます。



⑦ 2つの印の中心が柱等の探知物の中心ということになります。しかし、柱だけでなく電線ボックス等の別のものを探知する場合もあります。探知したものが縦方向の柱かどうか確認するために、⑥で付けた2つの印から約20cm下方でも①から⑥の方法で探知して、同じように反応することを確認してから釘打ち等の作業をしてください。



注意

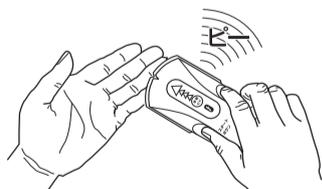
- 柱がイメージできない時は、加工作業を行わないでください。
- この製品では探知物の幅までは探知できません。あくまで間柱等の中心のみを探知します。

■電線警告機能

通電中の交流電流を察知すると電線警告ランプが点灯します。探知開始が通電中の電線状で行われた場合、電線警告ランプは点滅します。

■作動確認

反応に疑問を感じたときは、空中でスタートボタンを押し、手を裏面に当てます。このときにLEDランプが点灯すれば反応は正常です。



■トラブルと対策

状況	考えられる原因	解決法
LEDが点滅を始め、ビップビップと音が断続的に鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●壁内の密度の高い位置や柱等の真上から探知を開始した。</li> <li>●壁にピッタリ当てていない。</li> <li>●探知中に本体がぶれたり、壁から離れたりした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●探知開始場所を左右どちらかに数cm移動させ、ボタンを押してもう一度探知を開始する。</li> <li>●表面の荒い壁などには厚紙などを当て、その上を本体が滑らかにスライドするようにする。</li> <li>●本体は必ず柱や探知物と並行になるように持ち、それらに直交するように移動する。</li> </ul>
LEDが点灯するところが多すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●間柱以外の物を検出している。</li> <li>●電気配線や金属製・プラスチック製の管が壁の裏面かその近くにある。</li> <li>●探知している壁材の密度が均一でない。主な原因として湿気・虫食い・気泡等が考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これらが存在する可能性がある場合、壁・床・天井への釘打ち・切断・穴あけの作業は中止する。</li> <li>●探知したものが縦方向の柱かどうか確認するには、印を付けた場所の上下20cmのところと同じように反応するか確認する。</li> </ul>

注意

- 電気配線の近くの釘打ち・切断・穴あけ等の作業の際には、必ず電源(ブレーカー)を切ってから作業をしてください。
- 壁裏に間柱を探知して釘を打つ場合、掛けたり吊るしたりするもの重量に耐えられるかどうかを、事前によくご確認ください。

注意

- 落下等の強い衝撃を与えますと故障しますのでご注意ください。
- 使用しないときは電池を外して保管してください。入れっぱなしにしていると、液漏れすることがあります。

■壁材と探知物及び探知物検出深度の早見表

探知物	壁材	検出深度	検知可否
金属	ベニヤ板	約19mm	○ 探知できる
コンクリート	石膏ボード		○ 探知できる
モルタル	ALC板		○ 探知できる
金属木材	プラスチック		× 探知できない

※数字は壁材表面から探知物を検出可能な深さの概略値です。  
 ※ALC板とは、軽量気泡コンクリートの略です。

この製品は壁の材質や構造によって(特に湿気があると)正確に探知できない場合がありますので、ご了承ください。

■仕様

材質	ABS樹脂
本体サイズ	153×61×42mm
製品質量	134g(電池含)
電源	9V アルカリ乾電池 1個



お問い合わせ  
 シンワ お客様相談室  
 0120-666899  
 受付時間(土日祝日除く)  
 AM8:30~PM5:00  
 輸入発売元  
 シンワ 測定株式会社  
 〒955-8577  
 新潟県三条市興野3-18-21  
 URL http://www.shinwasokutei.co.jp  
 MADE IN CHINA